

事業報告

講座名	未来につなぐ SDGs 講座「脱炭素社会と暮らしの中のエネルギー」		
日時	令和6年7月27日（土）10：30～14：30		
場所	積水ハウス株式会社 「Tomorrow's Life Museum 山口」	参加者数	20人（うち10代3人）

1 概要

脱炭素社会の実現に向けた持続可能なエネルギー社会について理解を深めるとともに、ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）の体験等を通じて、新しい豊かな暮らしへのエネルギーの姿について学ぶことを目的として実施した。

〔講師 山口大学大学院技術経営研究科 教授 福代 和宏 氏〕

（1）講義

福代講師からは、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動である「デコ活（脱炭素 DE+エコ）」の紹介があった。「住まい・家電・飲食・移動」といった身近な暮らしの中でエネルギーを削減する取組である「デコ活」は、地球温暖化が進み、かつ資源輸入国である日本が、省エネ・創エネ・蓄エネのエネルギー施策を推進するために必要である。いろいろな具体例が挙げられたが、住まいにおいては、住宅への熱の出入りは窓やドアからが多いため、壁や窓を断熱することで省エネ効果が高くなることがわかった。

（2）見学

積水ハウス株式会社の担当者様から、同社の新築住宅の95%がZEHであることや、断熱材などの省エネ、太陽光発電などの創エネについての説明を受けた。

また、暑さや寒さをどう断熱しているかを複層ガラスのグレードによって比較できるコーナーでは、参加者が実際にガラスに手を触れ、その効果を確認した。

（3）参加者の反応（アンケートより）

中高生から70代までの幅広い世代が参加した講座となったが、「グラフや写真を使った説明で分かりやすくおもしろかった」と好評だった。

また、若い参加者から「今から生きる私にとって重要なことを知ることができた」との感想も寄せられた。

<写真>

